



高橋 恵美子 議員

質問

フレイル予防への支援は

町長

訪問活動を強化する

質問 現在の町内における若年性を含めた認知症の方の人数は。

健康福祉課長 認知症の方は令和5年4月1日現在で637名となっており、要介護認定者の約7割を占めている。

質問 認知症の早期発見、早期対応の促進や支援の充実のための必要な機関との連携状況は。

健康福祉課長 月一回の物忘れ相談日、支援体制は、医療職と介護職で構成する認知症初期集中支援チームを設置し、認知症が疑われる方やその家族に訪問等を行い、適切な医療や介護サービスにつなげている。

質問 ※フレイル予防の実態を踏まえたことからの方向性は。

町長 後期高齢者健診の未受診、医療機関未受診や介護サービスの未利用者といった健康状態が不明な高齢者や閉じこもりの可能性がある高齢者を把握し、必要なサービスの提供を図るため、訪問活動等を強化する。

※フレイルとは、加齢に伴い心身が虚弱している状態



認知症についてのチラシ

質問 給食費に係わる食材費の状況は。

教育魅力課長 現下の物価高騰により給食に使用する食材調達にも影響が出ている。現在小学校266円 中学校315円であるがこの状況が今後も継続すると給食費の値上げにつながる。

質問 保護者負担軽減のため、給食費に対する事業化は。

町長 昨年同様に交付金等活用し、学校給食へ補助できるように、準備をしている。保護者負担が増えないようにできる限り据置きで継続をする。

センタープールについて

質問 三成町営センタープールの老朽化の認識は。

ため応急処置として、今回補正予算を計上した。

教育魅力課長 建設後相当の年月が経過しており、平成4年度に大規模改修し、必要な修繕を行い、維持管理をしてきた。プールサイドの塗膜が経年劣化している



修繕が必要なセンタープール

その他の質問

横田、仁多給食センターの施設管理について
これからの三成町営センタープールの方向性について